

令和元年 第9回大河原町教育委員会定例会会議録

- 1 招集日時 令和元年9月20日(金) 午後1時30分
- 2 招集場所 大河原町役場 委員会室
- 3 出席委員 舟山幸枝委員、一盃森広志委員、丹羽宜博委員、古山陽子委員、鈴木洋教育長
- 4 説明のため出席した者
教育総務課長 佐藤 勝弘、生涯学習課長 八島 良隆、学校教育専門監 池田 尚人
- 5 開 会 午後1時30分

6 令和元年第8回教育委員会定例会の承認について

鈴木教育長 | (委員全員に諮って) 承認する。
舟山委員、丹羽委員 署名。

7 教育長報告

(1) 一般事務報告について

報告第20号 大河原町教育委員会教育長の任命に係る議会の同意について

(教育総務課長説明)

大河原町教育委員会教育長の任命に係る議会の同意についてご説明申し上げます。
鈴木教育長 (委員全員に諮って) 可決する。

報告第21号 令和元年度第3回大河原町議会定例会(9月議会)の結果について

(教育総務課長説明)

令和元年度第3回大河原町議会定例会(9月議会)の結果についてご説明申し上げます。

(質 疑)

鈴木教育長

大沼議員の質問の課題意識の中には、まちづくり未来会議については中学生の町に対する要望や自慢のできるまちを作りたいという思いと共に、自分たちでできることはないかとの提案があった。紙芝居、ゴミ拾いなどがでていますが、具現化できるのかという質問だったので、これから学校、関係課と調整を図り行っていく。構想だけでなく具体的にやっていく。

夏休みスポーツ大会の課題は、参加地区が年々少なくなっているなかで継続してよいのか、種目を変えて、多くの人に参加できるようにしたらどうか。すべての子供がに参加する機会を持つにはどうしたらよいか。ということだった。

一 盃 森 委 員	夏休みスポーツ大会、まとめているのは、地区子ども会の役員だと思う。子供会がないところもある。区長から、夏まつりに参加してほしいと小学校に問い合わせたら、地区の橋渡しをする人の個人情報を教えられないと言われた。地域と子供達、学校をつなぐ橋渡しがうまくいっていないのが現状。地区子供会がなり立たない中で区の中でどのように取り扱っていくのがよいのか。アイデアをだしていかないといけないし、学校の対応も検討してほしい。
鈴 木 教 育 長	次年度の予定として、地域学校協働本部を立ち上げて、地域と学校をつないで組織をつくらせていきたい。行事や事業の情報共有しつないでいく組織が必要。予算がいたら、関係する方々に集まってもらって話し合う
生涯学習課長	生涯学習課で立ち上げのミーティング中。 成人式について
舟 山 委 員	20歳の成人式は続けていくのか。成人ということは、選挙は18歳。酒タバコは20歳。
生涯学習課長	20歳の成人式は続けていきたい。
古 山 委 員	受験があって、子どもも大変だし、親も大変。成人式に頭がいかない。
丹 羽 委 員	20歳の成人式でよいのではないか。
一 盃 森 委 員	選挙権、主権者教育を学校で義務権利をしっかりと学んでいない。学校教育でとりくんでいく必要がある。そこを充実する必要がある。選挙で投票をすることが権利。18歳の投票率は半分以下。
丹 羽 委 員	将来がかかっているんで、社会の授業でやっても良いのではないか。 大河原中学校の体育館について
教育総務課長	国土強靱化の国の施策、計画に合わせて手を上げる。空調、トイレ、体育館。
鈴 木 教 育 長	工期を考えると体育館を使用しながら、近くに建設せざるをえない。グラウンドに少しかかったりするかもしれない。
丹 羽 委 員	いろいろな人から意見がでてくるので、それをまとめるのが大変だと思う。基準額が決まっているのか。
教育総務課長	決まっている。
	学力について
丹 羽 委 員	職場体験の子どもたち全員がゲームをしているといていた。
鈴 木 教 育 長	学力だけでなく、豊かな心と健やかな体と要素を合わせて学力を身につけさせていきたい。中体連や駅伝などのスポーツ面でも頑張っているし、道徳も全学級公開で行い、豊かな心の育成に努めている。
丹 羽 委 員	以前、学力がダメなときは、スポーツもダメだった。
	校庭の芝生化について
一 盃 森 委 員	芝生化をやってきた学校は、ことごとく失敗している。かえって危険になることもある。

(2) 専決事務報告

報告第4号 専決処分の報告について

令和元年度大河原町一般会計補正予算(第4号)

(教育総務課長説明)

令和元年度大河原町一般会計補正予算(第4号)について申し上げる。

(質 疑)

丹 羽 委 員	東北大会の旅費は子どものみか。
教育総務課長	子どものみ。先生は別途旅費がでる。

8 議事

なし

9 その他

(1) 教育長報告 校長会指示伝達

(鈴木教育長説明)

資料は別紙資料(校長会資料)である。

1 三地区中学校駅伝競走大会の結果

大河原中学校アベック優勝。金ヶ瀬中学校は女子も10位で立派である。勉強だけでなく頑張っている。

2 少年の主張仙南地区大会

大中、金中1名ずつ参加した。多くの人に聞いてほしい内容だった。

3 宮教委主催「算数チャレンジ大会2019」

算数チャレンジ大河原小学校は第3位だった。毎年上位は素晴らしい。1位から3位の小学校の校長先生は全員女性だった。女性の校長先生の指導が素晴らしい。

4 「第1回みやぎ市町村交流リレーマラソン」

新規事業で市町村対抗のリレー。アカデミーで担当を引き受けてくれた。一般の部に島津先生が出場する。市町村のランキングがでるのではないか。

5 いじめで不登校、命を絶つ子供

中川祥子さんのいじめの経験。女子のグループでの悪口にはどうしたらよいか。距離をおくことも必要と言っている。なぜ、いない人の悪口をいうのか。どのような、扱いか。昔は同一性協働性。もし、気があわないなら、距離をおいてぶつからないように。小学校でいじめっこが中学校に行くといじめられっこになることもあることを紹介した。

6 学力向上に向けた「全国学力調査問題(過去問)」の活用

過去問を授業で使ってほしい。電子データを作成した。すぐに印刷できるように。問題と学習指導要領の関連もつけた。利用できるようにCDにした。校長会や、教育長会で配布したい。

学力調査問題は良い問題なので、ぜひ授業で活用してほしい。2月までに教科書が終わったら復習に利用してほしい。

7 自己肯定感を育てる。

日本の子供は自己肯定感が低い。ボランティア活動などで、自己有用感を持たせることが自己肯定感につながる。社会にとって役立っているという意識をもつことが、自己肯定感につながる。学びを通して、自己肯定感を高める。体験活動で認めてあげる。励まし、認め、ほめられることが、自己肯定感につながる。

8 町就学时健康診断

いままでは、学校任せだったが、教育委員会と町職員からお手伝いをもらって実施した。来年は南小学校も入れて実施していく。

丹羽委員	職員会議で問題行動のある子は何かを求めているのではないかと思う。先生が子供の心理を学んでいってほしい。
池田専門監	落ち着かないときは、小学校、幼稚園のときから繋がっている。今の現象が、以前の事柄からつながっている。そこまで聞いていくことが大切。
丹羽委員	先生が子どもに心を開かないと、子どもも先生に心を開かない。相手の身になって知っておかないといけない。

8 次回教育委員会の開催日程について

鈴木教育長 | 次回は令和元年10月25日(金)午後2時から定例会を開催する。

9 閉会宣言 午後15時00分

令和元年10月25日

署名委員

署名委員+